

フューエルポンプモジュール脱着作業要領

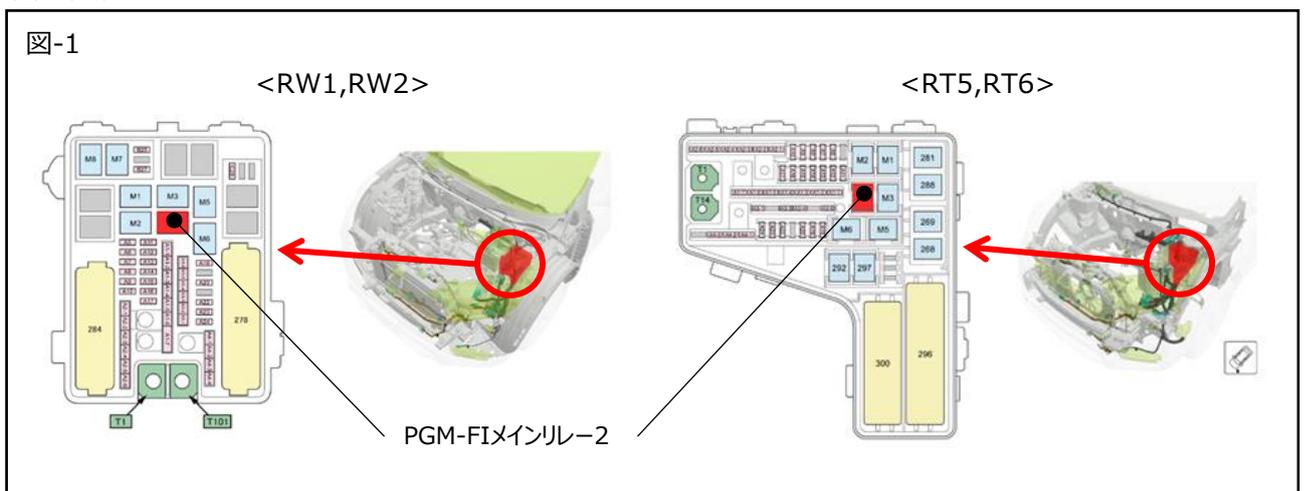
機種名	型式
CR-V	RW1 RW2 RT5 RT6

■ 使用する部品番号

型式・タイプ	部品番号
ガソリンエンジン車 (RW1 RW2)	06170-TLA-305
ハイブリッド車 (RT5 RT6)	06170-TMB-305

- 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
- POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィルターキャップを開ける。
- PGM-FIメインリレー-2を取り外す。

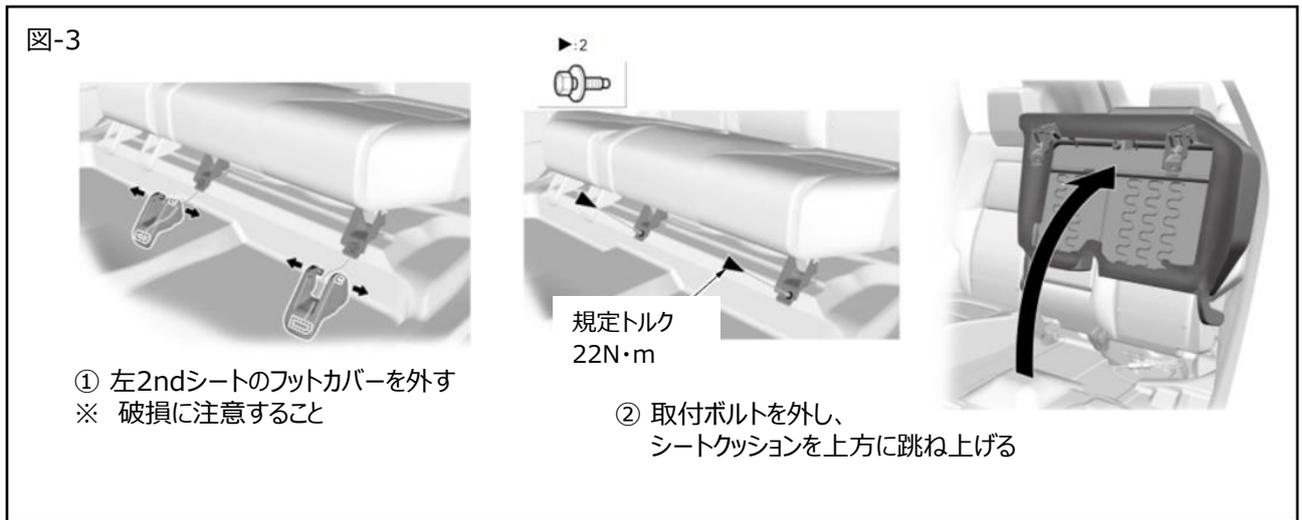
図-1参照



- メンテナンスモードでエンジンを始動し、残存燃圧を抜く。
 - ブレーキペダルを踏まない状態で、POWERスイッチを一度押し、ONモードにする。
 - Pレンジでアクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
 - ブレーキペダルを踏み、Nレンジにする。
 - アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
 - ブレーキペダルを踏み、Pレンジにする。
 - アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
 - ブレーキペダルを踏み、POWERスイッチを押すと、メンテナンスモードでエンジンが始動する。
 - ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンストしたらPOWERスイッチをOFFモードにする。
- 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。

6. 左2ndシートを跳ね上げる。

【ダイブダウンシート仕様】 図-3参照

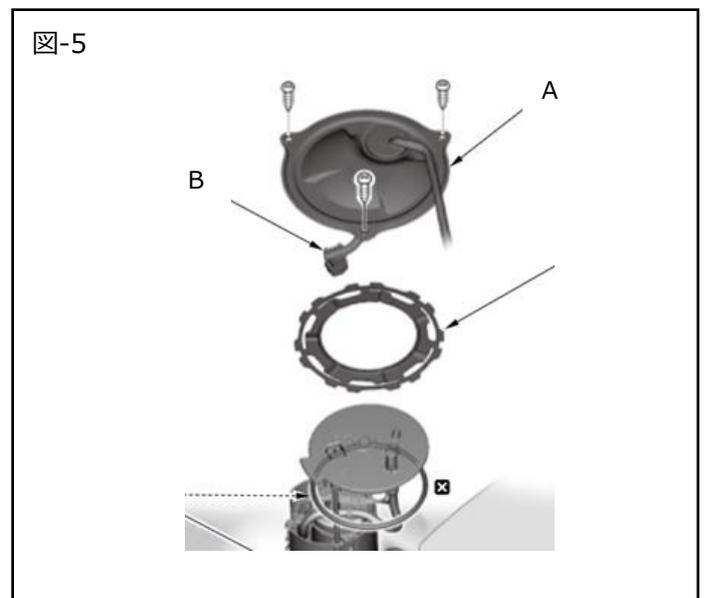


【タンブルシート仕様】 図-4参照



7. メンテナンスリッド(A)を外し、フューエルポンプモジュールからカプラ(B)を外す。

図-5参照

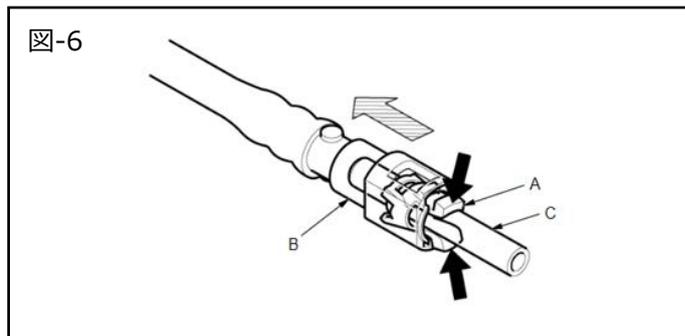


8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

9. フューエルチューブのクイックコネクタ周辺にウエスを巻き、クイックコネクタリテーナ(A)を指でつまみながらチューブを外す。

図-6参照

※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換

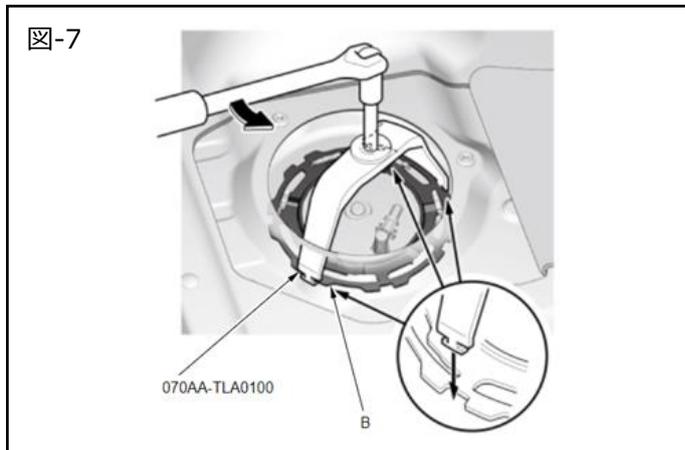


10. 指定のロックリングレンチを使用し、ロックリング(B)を外す。

図-7参照

※ ロックリングレンチ部番
070AA-TLA0100

※ ロックリングは分解時交換



11. フューエルポンプモジュール(A)をフューエルタンク引き出し、取り外す。

図-8参照

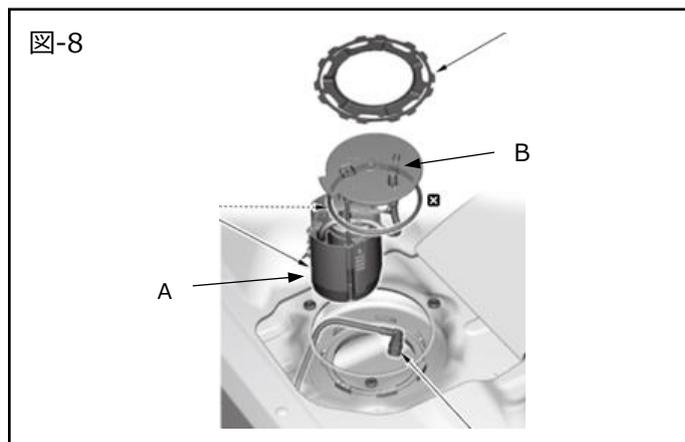
※ フューエルポンプモジュール(A)を引き出した向きを覚えておくこと

※ センダユニットのフロートアームを変形させないこと

※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること

※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る(再使用防止)

※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(B)を外し、新品のリテーナを組付ける。



12. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

※ 参照するポンプ交換作業要領 ➔ B

※ 「再利用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。

図-9参照

※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。



13. フューエルタンクの溝部に新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

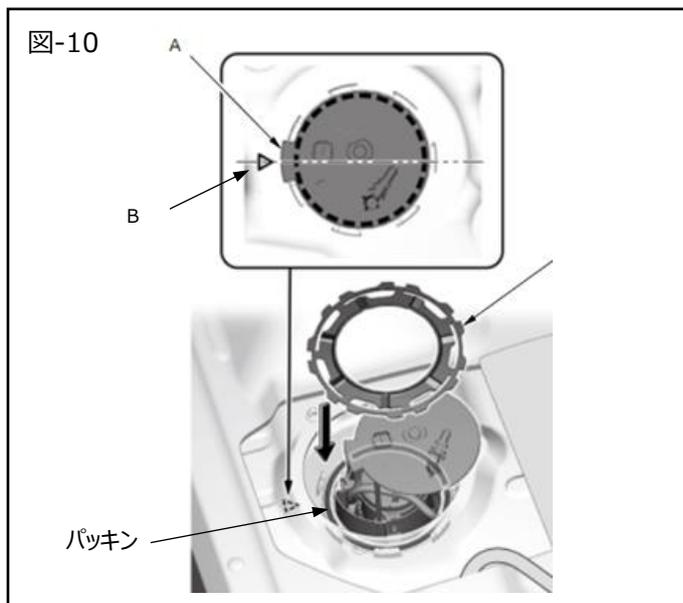
※ パッキンの位置は図-10参照

※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。

14. フューエルポンプモジュールのタブ部(A)をタンク側の合わせマークに合わせ、パッキンが密着するまで押し付ける。

図-10参照

※ パッキンがずれていないことを十分に確認すること。

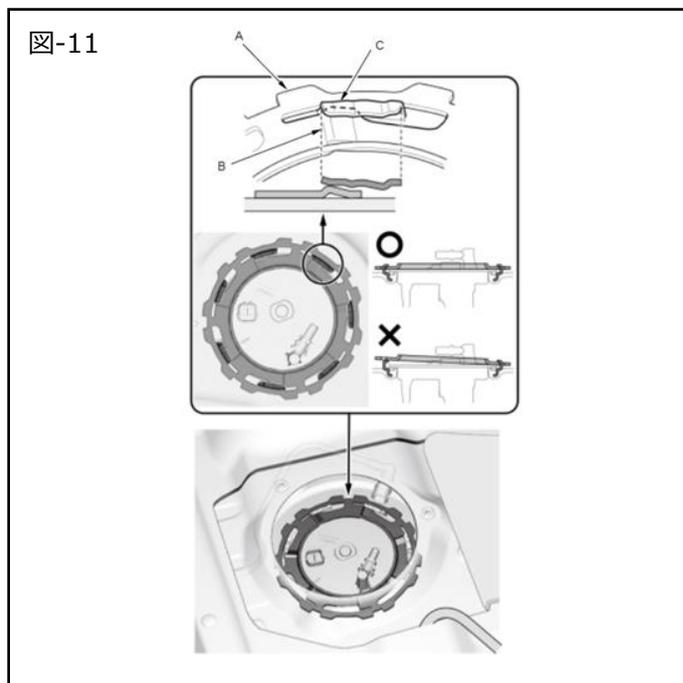


15. フューエルポンプモジュールを押しつけながら、新品のロックリング(A)をセットし、タブ部(B)をエッジ部(C)に差し込む。

図-11参照

※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。

※ 全てのタブ(B)がエッジ(C)に入っていることを十分に確認すること。



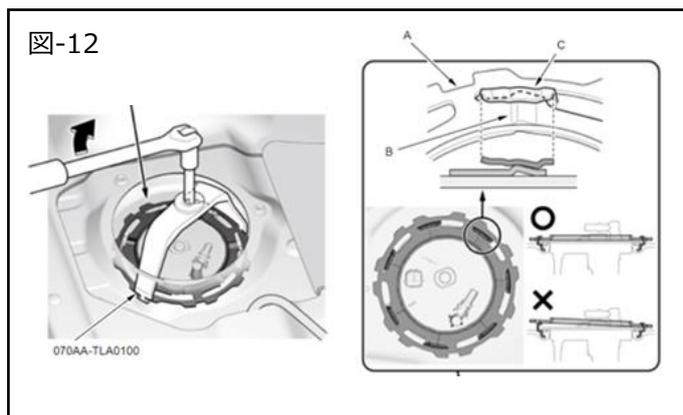
16. 指定のロックリングレンチを使用し、ロックリングを突き当てまで回す。

図-12参照

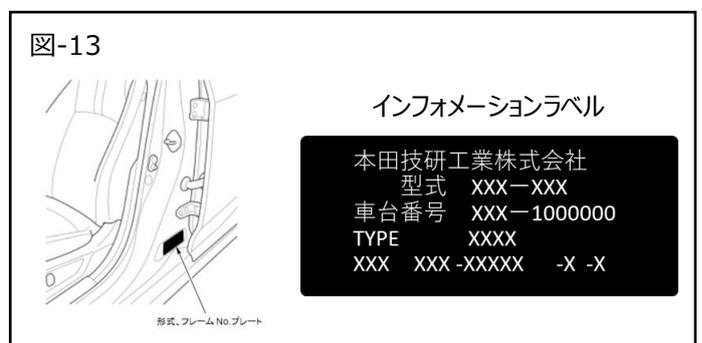
※ 全てのタブ(B)がエッジ(C)に入っていることを十分に確認すること。

17. クイックコネクタとカブラを接続する。

※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込みその後、軽い力で引っ張り、抜けないことを確認すること。



18. バッテリーのマイナス端子を接続する。
19. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモードにする。
20. 手順19.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
21. 整備主任者に中間検査を依頼する。
22. 整備主任者は下記項目を確認すること。
 - ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。
 - ② ロックリングの全てのタブ(B)がエッジ(C)に入っていることを十分に確認すること。 図-11参照
 - ③ クイックコネクタ、カプラ、バッテリー端子の接続を確認する。
 - ④ エンジンを始動し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。
23. 手順22.の中間検査が完了後、メンテナンスリッドを組付け、2ndシートを取り付ける。
24. フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。
25. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。
26. 整備主任者は下記項目を確認し、完成検査を行う。
 - ① 分解した部品が確実に取付られていること。
 - ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
 - ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
 - ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。
27. インフォメーションラベルの写真を撮影する。
図-13参照



28. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。
29. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

※ 手順27.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。